

# 古賀総合病院

# 外科ニュース



## 日本腹部救急医学会の認定施設として認定されました!

当院はこのたび、腹部救急医療において高度な診療体制と実績が評価され、日本腹部救急医学会の認定施設として認定されました(図1)。腹部救急医療では、初期対応の迅速さと多職種連携が極めて重要です。当院では、外科・内科・放射線科・麻酔科が密に連携し、24時間365日対応可能な診療体制を整えています。CT・MRIを含む画像診断や、緊急手術、緊急内視鏡にも速やかに対応できます。

当院では年間100件前後の腹部疾患の緊急手術を行っており(表1)、主なものとしては消化管穿孔、絞扼性イレウス、急性虫垂炎などが挙げられます。他にも急性胆嚢炎に対する穿刺ドレナージ(PTGBD)、胆管結石や黄疸に対する内視鏡治療(ERCP)、消化管出血に対する内視鏡止血術(年間200～210件)、腹腔内出血に対する血管内治療(IVR)なども積極的に行ってています。

【表1. 当院の緊急手術件数】

2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
84	75	110	107	102

また、患者さん一人ひとりの病態や全身状態に応じて、なるべく低侵襲でダメージの少ない治療を選択、保存的治療から外科的治療まで最適な治療方針を決定し、安全性と治療成績の向上に努めています。高齢者や併存疾患有する患者さんに対しても、

各診療科が連携し、全身管理を含めた包括的な医療を提供しています。

今後も安心・安全で質の高い腹部救急医療を提供してまいります。腹部救急疾患でお困りの際は是非ご相談下さい。



【図1. 腹部救急認定医・教育医制度認定施設証】

作成: 2026年1月8日